

授業科目 家族関係論

【担当教員名】 寺田 貴美代		対象学年	1	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		○	
【概要・一般目標：GI0】 少子高齢化が進展する中で、家族は大きく変化し、多様な課題に直面している。そこで、さまざまな現代家族のあり方について考察し、社会福祉との関わりから家族関係を理解する。また、この授業は1年生前期に位置づけられていることから、今後、より深く専門科目を学ぶための基礎となる考え方を身につける。そして、現代社会における課題を認識する力を養うことを目指す。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代家族の多様な様態や直面する諸問題について認識する 2. 社会福祉との関わりから家族関係を理解する 3. 家族に関する社会福祉の専門的な知識に根差した思考や判断力を身につける 4. 福祉社会の動向に関心を持ち、現代社会における家族の課題をとらえる 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション、家族に関する基礎的理解（1）			1～4	講義
2	家族関係の基礎（1）			1～4	講義
3	家族関係の基礎（2）			1～4	講義
4	家族関係の基礎（3）			1～4	講義
5	夫婦と家族（1）			1～4	講義
6	夫婦と家族（2）			1～4	講義
7	子どもと家族（1）			1～4	講義
8	子どもと家族（2）			1～4	講義
9	障害者と家族（1）			1～4	講義
10	障害者と家族（2）			1～4	講義
11	高齢者と家族（1）			1～4	講義
12	高齢者と家族（2）			1～4	講義
13	高齢者と家族（3）			1～4	講義
14	授業の総括（1）			1～4	講義
15	授業の総括（2）			1～4	講義
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他>			
教科書 (必ず購入する書籍)		特に指定しない（プリントを配布する）。			
参考書		適宜、授業中に紹介する。なお、図書館には家族に関する書籍が多数あるため、積極的に活用すること。			
その他の資料					
【評価方法】 レポート・課題提出状況・出席状況・授業態度に基づいて成績を評価する。			【履修上の留意点】 第1回目の授業において講義の概要や受講方法を説明する。履修希望者は必ず出席すること。		